

第2節 活動

トピックス  30～33ページ

～地域防災力の要～

○消防団は災害活動のほか、消防特別警戒や防火防災思想の啓発のための活動等を行っています。

○前年度と比較し、出動件数、警戒件数は共に減少しました。

1 活動状況（統計）

（1）出場件数

令和7年度中の特別区消防団の出場件数は、1,042件でした。前年度と比較すると、14件減少しています。（図表3-2-1）



（2）警戒件数

令和7年度中の特別区消防団の警戒件数は、15,857件でした。前年度と比較すると、2,158件減少しています。（図表3-2-1）



■ 図表3-2-1

令和7年度中の特別区消防団の活動状況

年	令和7年度	前年度比
出場件数	1,042件	▲14件
警戒件数	15,857件	▲2,158件

（3）教育訓練件数

令和7年度中の特別区消防団の教育訓練件数は、25,603件で、日々訓練を重ね、災害対応力の充実強化を図り、災害に備えています。



2 活動事例

(1) 災害活動

ア 耐火造4階建て事務所 1,163㎡等が焼損し、第三指揮体制で対応した火災。可搬ポンプ積載車4台、団員 23 名が出場しました。



イ 耐火造5階建て共同住宅 5㎡焼損、署隊と連携した照明活動により残火処理時の安全確保を実施しました。



ウ 防火造 2 階建て店舗等、計 5 棟 206㎡が焼損した火災に、可搬ポンプ積載車 1 台、団員 11 名が出場しました。



エ 木造 2 階建て住宅等、計 10 棟 101㎡が焼損した火災に、ポンプ車 4 台、団員 17 名が出場しました。



オ 防火造 2 階建て共同住宅等、計 7 棟 310㎡が焼損した火災に、手引きポンプ 1 台、消防団員 15 名が出場しました。



(2) 教育訓練

ア 発生が危惧されている首都直下地震での活動を想定して、消防団のポンプ車に配置されている各種資機材の取扱い訓練を実施しています。



イ 震災時に、消火栓や防火水槽等の水利が活用できない場合に対応するため、実際の河川の妙正寺川で自然水利を活用した活動能力及び知識向上をテーマに実戦的な訓練を実施しています。

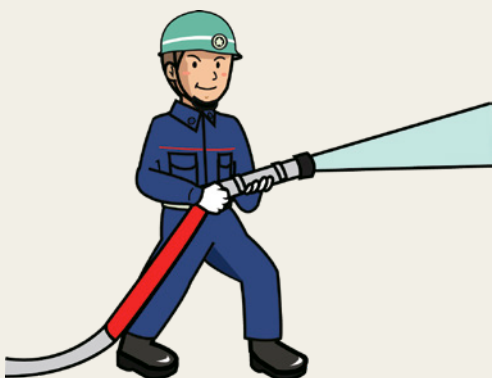


ウ 解体予定建物を活用した活動訓練を実施しています。



(3) 消防特別警戒

各地域で開催された催物において、消防特別警戒を実施しています。



（4）消防演習

火災予防運動や文化財防火デー等の各種行事で、消防署及び関係機関と連携した消防演習を実施しています。



（5）総合防災教育等

ア 高等学校等において、消防団の活動を紹介するとともに将来の地域防災の担い手を育成するため、総合防災教育を実施しています。



イ 各消防団は、各消防署及び各小学校等と協力し、「はたらく消防の写生会」に参加しています。はたらく消防の写生会は、一人でも多くの子供たちに参加してもらい、消防の仕事を理解し、防火防災の心を育て、さらに多くの都民に防火防災思想を啓発することを目的として実施しています。



ウ 各消防団は、防火防災訓練及び各種イベント等の機会をとらえ、初期消火訓練などの指導を行っています。

